

第1学年4組 国語科学習指導案

平成28年11月30日(水) 第5校時
 学 習 者 男子18名 女子17名
 授 業 者 渡 辺 美 奈 子

- 1 単元名 おいでよ、おはなし どうぶつえん〜だいすきなみんなに、だいすきな本をしょうかいしよう〜
 教材名 「りすの わすれもの」(ひろがることば しょうかくこくご 一下 教育出版)
 「ぞうくんのさんぽ」(なかのひろたか 作) 「ぞうのエルマー」(デビットマッキー 作)
 「ニコラスどこへいったの」(レオ・レオニ 作) 「ともだちや」(うちだりんたろう 作)
 「なぞなぞライオン」(ささきマキ 作) 他

2 単元について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、読むこと(物語)について、以下のような学習をしてきている。

時 期	教 材 名	学 習 し た こ と
5月	くまさんとありさんのごあいさつ	挿絵や言葉から様子を想像しながら、声に出して音読をすること。
6月	けむりのきしゃ	会話文や言葉のまとまりに気を付けて音読すること。 吹き出しに想像したことを書くこと。
7月	大きなかぶ	場面の様子を想像して動作化したり、音読に表したりすること。 吹き出しに想像したことを書くこと。
9月	けんかした山	場面の様子を想像して動作化したり、音読に表したりすること。 グループで工夫した音読を発表すること。
11月	うみへのながいたび	登場人物の行動から、想像したことを吹き出しに書き、紹介すること。

9月に行った【国語についての意識調査】からも、音読や動作化、書く活動を通して、物語を楽しく読むことができるようになってきていることが分かる。

読書については、入学当初から、担任や保護者ボランティアによる読み聞かせを楽しんできた。本を読むことに興味をもつようになり、毎週設定されている朝読書の時間を楽しみにしている児童が多い。読書の様子を見ると、同じ本や同じシリーズの本を繰り返し読んだり、写真や絵だけを見ていたり、自分の読む力に合っていない高学年向きの本を借りたりしている児童も見られる。

今後は、物語を読んで感想をもったり、自分の考えを話したりしながら、物語を読む楽しさを実感させることで、読むことの力を高めていきたい。

【国語についての意識調査】次のような学習は得意ですか。(9月実施)

	とても得意	得意	あまり得意ではない	得意ではない
発表すること	18	9	7	1
友達の話聞くこと	23	8	4	0
話し合うこと	19	11	5	0
音読すること	22	10	3	0
読書すること	23	8	2	2

(2) 本単元で身に付けたい力

本単元では、指導事項「(ウ) 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げて読むこと。」
 「(カ) 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。」をねらいとする。

(3) 本単元での言語活動

本単元では、「言語活動例（オ）読んだ本について、好きなところを紹介すること。」を取り上げる。

(4) 指導観

教科書教材「りすのわすれもの」は「りすさんた」が「くるみのおじさん」との会話を通して、くるみの実が食べられるまでの経緯を知る。その後、自分も同じように、くるみの実を埋めていたことに気付くストーリーである。「りすさんた」の行動や「たろすけさん」の行動に着目して読むことで物語を読む楽しさを味わうことができると考える。

これまで学習してきた教科書教材に比べ、文章が長く、読むことに難しさを感じる児童がいると予想される。登場人物の行動や挿絵に着目することを手立てとしながら、本教材の楽しさを味わわせていきたい。また、読んで思ったことを交流する場を繰り返し設定しながら、少し長い物語を読むきっかけとしていきたい。

3次で扱う物語は、2次での「りすのわすれもの」の学習を生かせるよう、「登場人物が動物」「簡単な展開」「主人公がはっきりしている」という視点で選書する。一人ひとりが選び、読んだ物語を紹介することで、本単元で身に付けた力を確実に定着できるようにする。

3 単元の目標

- 「動物が主人公」の物語を楽しく読むことができる。 (国語への関心・意欲・態度)
- 物語の中の登場人物の行動に着目して想像を広げながら読むことができる。 (読むこと)
- 好きなところを紹介するために、物語を選んで、楽しみながら読書をするすることができる。 (読むこと)
- 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

4 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 読む能力	ウ 言語についての知識・理解・技能
「教材文や自分の選んだ物語を読んで、好きなところを紹介し合う言語活動」を通じた指導 ＜学習指導要領との関連＞ 言語活動例（オ）読んだ本について、好きなところを紹介すること。		
・「動物が主人公」の物語を楽しく読んだり、好きなところを紹介したりしている。	・登場人物の行動に着目して想像を広げながら読んでいる。 ・好きなところを紹介するために、物語を選んで読んでいる。	・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付いている。

5 指導と評価の計画（全11時間）

次	時	○本時の目標・主な学習活動	学習内容	指導・支援 ◎学習活動に即した評価規準、(評価方法)
一	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">学校図書館司書のブックトークを聞く</div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が知っている「動物」が出てくる物語を発表し合う。 ・学習の目標を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標 	<ul style="list-style-type: none"> ・「動物が主人公」の物語がたくさんあることを知らせるためにブックトークを行い、学習への興味・関心を高める。 ・「りすのわすれもの」の学習を生かせるよう、「登場人物が動物」「簡単な展開」「主人公がはっきりしている」という視点で選書する。 ・児童の感想を取り上げ、学習の目標の設定につなげていく。

		<ul style="list-style-type: none"> ・学習計画を知る。 ・教材文「りすのわすれもの」の読み聞かせを聞く。 ・並行読書をしていくための物語を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習計画の立て方 ・読みたい物語を選ぶこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が学習の見通しをもてるように、単元の導入で学習計画を提示する。 ・目的意識、相手意識をもった学習を展開できるように、紹介し合った本を廊下にある学年掲示板に貼り「おなはしどうぶつえん」とすることを伝える。 ・「誰が出てくるのか」「登場人物がどんなことをするのか」を考えながら、読み聞かせを聞くよう助言する。 ・「クラスの友達に一番紹介したい本を選ぶ」ことを全体で確認し、目的意識、相手意識をもちながら並行読書を進められるようにする。 ・読んだ本を記録するためのワークシートを作成し、配付する。 <p>◎学校図書館司書のブックトークを聞き、読みたい本を選んでいる。 (ブックトークや読み聞かせのときの様子の観察)</p>
二	2 3 4 5	<p>「りすのわすれもの」を読む</p> <p>※主体的な学習を通して、本単元で身に付ける力を獲得できるように、2～5時間目は、同じ学習活動で行う。</p> <p><学習の進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・並行読書を行う。(7分) ・「りすのわすれもの」を読む。 ・挿絵から気付いたことを発表する。 ・登場人物の行動が分かる文や言葉を見付ける。 ・紹介メモを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動に着目した読み ・想像を広げながらの読み ・意味による語句のまとまり 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書教材「りすのわすれもの」を使って、「登場人物の行動に着目しながら読むこと」「想像を広げながら読むこと」「意味による語句のまとまりがあること」を学習し、3次学習に生かせるようにしていく。 ・人物の表情や周りの様子などは、挿絵からも分かることを確認し、想像を広げるときに生かすよう助言する。 ・登場人物の好きな行動を選んで音読したり、動作化したりすることで、学習内容を身に付けられるようにする。 ・前時までの学習を生かしながら、登場人物の行動に着目した読みができるように、また、想像を広げながら読むことの楽しさを共有できるように、グループやクラスで交流する場を設定する。 ・児童に分かる言葉で、交流するときの視点を提示する。 <p>◎登場人物の行動に着目して想像を広げながら読んでいる。</p> <p>◎言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付いている。</p> <p>(音読や動作化の様子の観察、ワークシートの記述内容)</p>
	6	<p>好きなところを紹介するために紹介カードを書く</p>		

		<ul style="list-style-type: none"> 好きなところを紹介するための言葉を選ぶ。 紹介カードを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 意味による語句のまとまり 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書やワークシートを活用しながら、前時までに見付けてきた「登場人物の行動」を確認し、その中から選ぶよう助言する。 「好きなところを紹介する言葉」を使えるようなワークシートを作成する。 ◎好きなところを紹介するために、紹介カードを書いている。(紹介カードの記述内容)
	7	「りすのわすれもの」の好きなところを紹介し合う		
		<ul style="list-style-type: none"> 好きなところを紹介する。 感想を交流する。 「りすのわすれもの」をももう一度読む。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の行動に着目した読み 想像を広げながらの読み 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に一人ひとりが書いた紹介カードを読み、個に応じた支援を行い、紹介する楽しさを味わうことができるようにする。 目的に合った交流ができるように、語彙シートを作成する。 友達の紹介を聞いて思ったことや考えたことを全体で発表し合い、もう一度「りすのわすれもの」を読む場面を設定する。 ◎好きなところを紹介し、「りすのわすれもの」を楽しく読んでいる。 (紹介の様子の観察、学習計画表のめあて)
三	8 9	「動物が主人公」の物語を選んで読み、紹介カードを書く		
		<ul style="list-style-type: none"> 図書館司書による「動物が主人公」の物語の紹介を聞く。 「動物が主人公」の物語を選ぶ。 選んだ物語を読む。 紹介カードを書く。 紹介するための練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 読みたい物語を選ぶこと 登場人物の行動に着目した読み 想像を広げながらの読み 	<ul style="list-style-type: none"> 本時からの学習に自信をもてるように、前時まで、登場人物の行動に着目し、想像を広げて物語を読んできたことを称賛する。 学校図書館司書と連携し、2次での学習を生かした内容で、物語の紹介をしてもらうよう依頼する。 読みたい物語を選べない児童には、並行読書を進めてきた本や1時のブックトークの中から選ぶよう助言する。 学習の様子や紹介カードに目を通し、一人ひとりの学習の進み具合やつまずきを把握し、自信をもってお気に入りの本を紹介できるよう、個に応じた支援をする。 ◎登場人物の行動に着目して想像を広げながら読んでいる。 ◎好きなところを紹介するために、物語を選んで読んでいる。 (学習の様子の観察、紹介カードの記述内容)
	10	紹介カードで物語を紹介し合い、読んでみたい本を見付ける		
	本時	<ul style="list-style-type: none"> 物語を紹介し合う 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の行動に着目した読み 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に合った交流ができるように、語彙シートを作成する。 ペアでの紹介を繰り返すことにより、紹介す

		<ul style="list-style-type: none"> 想像を広げながらの読み 読みたい物語を選ぶこと 	<p>ることに喜びを味わいながら、本単元での学習内容の定着を図れるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの学習状況に応じた声掛けや支援を行う。 <p>◎自分の選んだ物語を紹介したり、友達の紹介する本に興味をもって聞いたりしている。 (発表の様子を観察、ワークシートの記述内容)</p>		
11	単元の振り返りをする		<ul style="list-style-type: none"> 友達に紹介してもらった物語を読む。 単元の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 読みたい物語を選ぶこと 登場人物の行動に着目した読み 想像を広げながらの読み 	<ul style="list-style-type: none"> 物語を紹介し合う学習を通して、物語を読む楽しさを感じていたり、新しく読んでみたい物語を見付けたりしてきたことを確認する。 学習計画表やワークシートを見直ししながら、紹介カードを使って選んだ物語を紹介できたことを称賛し、本単元で身に付けた「読むこと」の力を今後の学習活動、日常生活に活かしていけるようにする。 <p>◎単元で学習したことを振り返り、物語を読む楽しさに気付いている。 (ワークシートの記述内容)</p>

6 本時の学習指導 (10/11時)

(1) 目標

選んだ物語の好きなところを紹介し合い、物語を読むことへの興味を高めることができる。

(2) 展開

前時の学習活動 自分が選んだ「動物が主人公」の物語を紹介するための準備をする。

学習活動	学習内容	指導・支援 ◎学習活動に即した評価規準、評価方法	時
1 口の体操をする。		<ul style="list-style-type: none"> よい発声やよい姿勢の児童を褒めながら、学習の雰囲気づくりをする。 	3
2 学習のめあてを確認する。		<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが選んだ物語について、紹介カードを書いてきた学習の様子について称賛することで、本時からの学習に自信をもてるようにする。 	5
<p>だいすきなみんなに、だいすきな本をおしえてあげよう よんでみたい本をもっとみつけよう</p>			
3 物語を紹介し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の行動に着目した読み 想像を広げながらの読み 読みたい物語を選ぶこと 	<ul style="list-style-type: none"> 目的をもって学習に取り組めるように、紹介するときの観点 (①物語に出てきた登場人物 ②すきなところ ③好きな理由) を確認する。 目的に合った交流ができるように、語彙シートを作成する。 ペアでの紹介を繰り返すことにより、紹介することに喜びを感じながら、本単元での学習内容の定着を図れるようにする。 紹介を聞いたあと、「ヒントじてん」を使いながら、質問や感想を言うように助言する。 うまく紹介できない児童には、寄り添って一緒に紹 	25
<ul style="list-style-type: none"> ①登場人物が同じ動物の物語を読んだ友達と紹介し合う。 ②登場人物が違う動物の物語を読んだ友達と紹介し合う。 			

<p>4 本時の学習を振り返り、ワークシートを書く。</p> <p>5 感想を発表し、学習のまとめをする。</p>		<p>介カードを読んだり、質問や感想が言えない児童には、教師と一緒に考えたりするなど、一人ひとりの学習状況に応じた声掛けや支援を行う。</p> <p>・物語を紹介し合う学習を通して、物語を読む楽しさを感じていたり、新しく読んでみたい物語を見付けたりした児童の感想を取り上げ、全体で共感することで学習のまとめする。</p>	12
<p>取り上げる児童の感想例</p> <p><物語を読む楽しさ></p> <p>◇自分のお話を紹介できたから、このお話を選んでよかった。</p> <p>◇どのお話を選ぶか迷ったけれど、「読みたくなった。」と言ってもらって選んでよかった。</p> <p><登場人物の行動に着目した読み、想像を広げながらの読み></p> <p>◇動物の行動を考えながら読むのが、楽しかった。</p> <p>◇友達が、そのお話を読んで想像したことや選んだ理由がよく分かった。</p> <p>◇動物が、〇〇したことが、面白かった。</p> <p><読みたい物語を選ぶこと></p> <p>◇ぼくは、「ライオンのお話」を読んだけれど、今度は「くまのお話」を読みたくなった。</p> <p>◇私は、〇〇さんが紹介してくれたお話を読みたい。</p>		<p>◎自分の選んだ物語を紹介したり、友達の紹介する本に興味をもって聞いたりしている。 (発表の様子の観察、ワークシートの記述内容)</p> <p>・本時で興味をもった物語を次の時間に読むことを伝え、物語を読むことへの意欲を高める。</p>	
<p>6 次時の学習について聞く。</p>		<p>◎自分の選んだ物語を紹介したり、友達の紹介する本に興味をもって聞いたりしている。 (発表の様子の観察、ワークシートの記述内容)</p> <p>・本時で興味をもった物語を次の時間に読むことを伝え、物語を読むことへの意欲を高める。</p>	

次時の学習活動 友達に紹介してもらった物語を読み、単元の振り返りをする。